

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレイションが
毎月発行する瓦版です

シゲルくん通信 NEO

★当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day』内にて
内容リフレッシュして、引き続き当社ラジオCMオンエア中! (毎週火曜日7:15~8:54内)

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて
当社お天気フィラーTVCM放映中! (毎週月曜日6時30分頃)

毎月掲載しておりました
ことだま千絵子さんの
「ことだま」作品は、当社
ホームページにお引越し
しました。
新着情報で作品を掲載中♪



当社のエントランスも緑豊かな季節です♪

今月のトピックス

- I. シゲルくんバッジ リニューアル
- II. 第37回プレジデントカップ開催
- III. 株式会社堤建築設計事務所様にて
当社出張CPDセミナー実施

I. シゲルくんバッジが リニューアルしました!

当社キャラクター「シゲルくん」バッジの
カラーバリエーションが6色に増えました。
役職によってカラーが増えていきます。



II. 第37回 シゲル・コーポレイション プレジデントカップ開催

4月27日(土) 紫雲ゴルフ倶楽部にて、当社主催のゴルフコンペを開催致しました。
ご参加頂きました 29名の皆さんと 暖かな春の陽気のなかで気持ち良くプレーを楽し
み交流を深め合いました。



III. 株式会社堤建築設計事務所様にて 当社出張CPDセミナーを実施



建物長寿命化改修について

株式会社堤建築設計事務所
出張セミナー資料

2024年4月18日

株式会社シゲル・コーポレイション(説明者 横野和元)

4月18日 株式会社堤建築設計事務所様にて2024年度、
最初のCPD対応の出張セミナーを開催し、7名の方に
ご参加いただきました。

プログラム内容は建物長寿命化改修（耐久性を高め、
かつ機能や性能向上を伴う工事）について、

- ①建物長寿命化の定義について
- ②建物長寿命化の為の屋上防水改修の留意点
- ③建物長寿命化の為の外壁改修の留意点

について、ご説明させていただきました。

プログラム名：「建物長寿命化改修について」

時間：3時間 CPD単位：3単位

荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃん的シネマコラム

連載第73回 今月のテーマ 『異形の愛』



★今月のfoto(イラストはおやすみ)

『懐かしの金曜ロードショー 風♪
自宅近くの日本海
沈む夕陽が綺麗すぎて』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、
増村文武です。

当社の業務とも大きく関連する偉大な物質『水』
我々人間のような有機生命体も、岩石のような無機系物質についても、おそらく地球上の主要な物質の形成や維持に密接なかかわりと恩恵をもたらしてきた水ですが、実は、水はいまだ性質について解明されていない未知の部分が多く、現在も科学者が様々な侧面で研究を続けています。
例えは液体から個体に変化すると軽くなるのは水の持つ特異な性質の一つですが、原因はわかつていません。そして近年の研究では、水は自ら意志を持っている、また水は記憶することができ記憶媒体として活用できるとの新見解も! ふだん飲んでいる水の性質についての新説については、まさに開いた口が塞がらない級の驚き!
このテーマについては、また掘り下げてご紹介できる機会があればと思います(^_^\n)

さて連載第73回目のテーマはやはり『異形の愛』 連載第38回目のテーマ『普通じゃないけど最高な恋愛映画』をさらに掘り下げ、今回もこの3本を観れば、お腹一杯間違いなし選りすぐりでコアな3本をご紹介いたします!



★毎月掲載している
挿絵はこちらからも
どうぞ。

No.214 『シェイプ・オブ・ウォーター (2017年 アメリカ映画)』

第90回アカデミー賞にて作品賞など4部門を堂々受賞! 半魚人との恋という特異なテーマを扱いながら、映し出される映像はきらきらと輝く宝物のようなカットの連続。本作品の世界にどっぷり沿うこと間違いなしの魅惑な1本! 発話障害の女性主人公イライザは、アメリカの機密機関である航空宇宙研究センターで清掃担当として働いていましたが、ある日、新任の博士のもとで謎のタンクが運び込まれます。イライザはある時このタンクに入れられていた未知の生物を目撃!! それはアマゾンの奥地で神として崇拝を受けていた半魚人! やがてイライザは幾度かの"ふれあい"の中でこの生物との意思の疎通に成功。そして彼女は、独特なチャーミングさを併せ持つこの異形のモンスターに、人への恋愛に似た感情を抱いていくようになります。本作、舞台となる1960年代のアメリカを忠実に再現! この頃のマテリアル良いですね~車、電化製品、家具など、シェイプも色使いもグラマラス! 本作を手掛けた日本のアニメ・怪獣オタク、ギレルモ・デル・トロ監督の他作品では、当コラム第24回で紹介済『パシフィック・リム』も心高鳴る傑作、合わせて御覧あれ!

No.215 『ザ・フライ (1986年 アメリカ映画)』

先日、このコラム執筆のために久しぶりに鑑賞! ホラージャンルの巨匠デビッド・クローネンバーグ監督が、本物のプロが作るホラー映画とはかくあるものと改めて教えてくれる一本! 恐怖の起承転結がしっかりしていて完成度が実際に高いですね! 科学者の主人公ブランドルは、分子レベルで物質を分解し再構築させる仕組みを持つ物質転送機「テレポッド」を開発中! ある時知り合った女性記者ヴェロニカと恋仲になる中、幾度も失敗したヒヒによる実際の生物の空間転送についてに成功! その後、ヴェロニカと元恋人との関係に嫉妬し泥酔したブランドルは、まだ検証が不十分な中で、自らの肉体の転送実験を決行してしまいますが、ポッド内には気づかぬ内に一匹の蠅が紛れこんでいる…! 本作が強烈な印象を放ち続ける理由は、やはり悲劇の主人公ブランドル役ジェフ・ゴールドブラムの独特的な風貌と雰囲気を武器にした、人間から昆虫にメタモルフォーゼする過程の熱演でしょうか! ジーナ・ディヴィス演じるヴェロニカの一途すぎる想いもラストの衝撃と悲しみを大きく増幅させ、本作は実は立派な恋愛映画であることにも気づかせてくれるのです!

No.216 『狼男アメリカン (1981年 アメリカ映画)』

こちらも往年の名作! 容赦ない怖さと、相反するようなブラックユーモア、そしてちょっぴり恋愛要素も融合、私的には狼男をテーマにした作品群において未だ本作を超えるものはない出来栄えと思う次第! 英国にヒッチハイクの旅をしにきた米国大学生に降りかかる大災難! 満月の夜、英国の荒野を歩いていたデビッドとジャックは突然正体不明の狂暴な獣に襲われ、ジャックは絶命、デビッドも瀕死の重傷を負うことに…! 住民により獣は射殺されるもなぜか獣の死体は見知らぬ男の死体にすりかわっていました。回復に向かうデビッドでしたが、彼の前に死んだはずのジャックが現れ、襲ってきたのは狼男でありデビッドも満月の夜に狼へと変身して人を襲うことになるので、自ら命を絶つように進言しますが… CG技術などなかった時代の中で、本作の変身シーンはどうやって作ったのか想像不能な驚愕クオリティ、アカデミー賞マイクアップ賞受賞も納得! その他印象に残るシーンは、無人の地下鉄駅構内で人狼の視点のようなカメラワークを多用しサラリーマンが追いかけて廻される場面、何回観ても怖すぎ…! そして、苦悩するデビッドと看護婦アレックスの2人の関係は、ラストを迎えてよいよ形作られる悲劇的な愛に違いありません(; ω ;)ウッ…

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆

